



インクルーシブ・デザイン・ラボ プロジェクト キックオフ・シンポジウム

日時： 2020年1月9日(木)・10日(金)

場所： 東京大学先端科学技術研究センター 4号館 2階講堂

誰ひとり取り残さないインクルーシブな教育研究環境の実現を目指すインクルーシブ・デザイン・ラボ プロジェクトは、障害等の様々な困難を持つ当事者ならではの視点を研究コミュニティにもたらす方法論としての「当事者研究」と、当事者が中心となって行う「アクセス可能な教育研究環境の構築」を2本柱としている。今回のキックオフシンポジウムでは、本プロジェクトに参加している国内外のゲストを招き、『すべての人によるすべての人のためのアカデミア』を実現する未来を考える。

1月9日(木)

はじめに

- 10:00 - 10:10 開会の挨拶
神崎亮平 (東京大学先端科学技術研究センター所長)
- 10:15 - 10:45 インクルーシブ・デザイン・ラボ プロジェクトの2つの柱
熊谷晋一郎 (東京大学先端科学技術研究センター当事者研究分野)
並木重宏 (東京大学先端科学技術研究センター生命知能システム分野)
綾屋紗月 (東京大学先端科学技術研究センター当事者研究分野)

第I部 研究コミュニティの Diversity & Inclusion

運動障害

- 10:50 - 11:20 運動障害のある人にとってアクセシブルな教育研究環境
並木重宏 (東京大学先端科学技術研究センター生命知能システム分野)
- 11:25 - 11:55 研究プロセスの作業分析
玉垣努 (神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部リハビリテーション学科作業療法学)
- 12:00 - 13:30 昼食
- 13:30 - 14:30 基調講演①: 視覚障害のある人にとってアクセシブルな教育研究環境
Joshua Miele (Amazon)

視覚障害

- 14:35 - 15:05 視覚障害のある学生への理系科目支援
鳥山由子 (全国高等学校長協会入試点訳事業部)
- 15:05 - 15:20 休憩

女子刑務所

- 15:20-15:50 女子刑務所の当事者研究
上岡陽江 (ダルク女性ハウス・先端科学技術研究センター)
- 15:55-16:25 薬物事犯により刑務所に収容される女性のための国際的アドボカシー
古藤吾郎 (日本薬物政策アドボカシーネットワーク)
- 16:30-17:00 当事者主導の女子薬物依存症回復支援法開発
大嶋栄子 (NPO 法人リカバリー)

ピアワーカー・ ユーザーリサーチャー

- 17:00-17:30 ユーザーリサーチャーの取り組み
宮西勝子・牧野麻奈絵・喜多ことこ・廣川麻子
(東京大学先端科学技術研究センター当事者研究分野)
- 17:35-18:05 精神保健サービスにおけるピアワーカー・ユーザーリサーチャーの世界的動向
山崎修道 (東京都医学総合研究所)
- 18:10-20:00 懇談会

第II部 教育研究環境のユニバーサルデザイン

技術とデザイン

- 10:00-10:20 インクルーシブデザインのデザインとは
伊藤節 (STUDIO ITO DESIGN / 先端科学技術研究センターフェロー)
- 10:25-10:45 建築環境のユニバーサルデザイン
松田雄二 (東京大学工学系研究科)
- 10:50-11:10 スマートライフケア共創工房の取り組み
柴田智広 (九州工業大学大学院生命体工学研究科)
- 11:15-11:55 基調講演②: Inclusive-Robot Oriented Design (I-ROD):
ロボットアンビエンスによる健康なワークライフインクルージョン
Thomas Bock (ミュンヘン工科大学)
- 11:55-12:50 昼食
- 12:50-13:10 支援機器開発における当事者参加の設計論的意義
硯川潤 (国立障害者リハビリテーションセンター福祉機器開発室)
- 13:15-13:55 インクルーシブな研究室をコ・デザインするには
Scott Kupferman (コロラド大学コロラドスプリングス校)

支援機器

第III部 産学連携と国際連携

- 14:00-14:40 基調講演③: 清華大学 Institute for Accessibility Development の挑戦
Lei Shao (清華大学 Institute for Accessibility Development)
- 14:40-14:50 休憩
- 14:50-15:30 基調講演④: 解放研究としての当事者研究の可能性:
私たち抜きに私たちの研究をしないで!
Karen Nakamura (カリフォルニア大学バークレー校)
- 15:40-16:40 フラッシュトーク (15分×4)
①「ソーシャルマジョリティ研究」の障害学生インターンシップでの活用 (日本IBM / 綾屋)
② 企業における「当事者研究」の活用 (電通 / 熊谷)
③ アクセシブルな研究室のコ・デザイン (ヤマト科学・GK デザイン機構 / 並木)
④ 国際連携 (スイス大使館 / 熊谷)

第IV部 法と制度

- 16:50-17:10 大学の学生・研究者への基礎的環境整備と合理的配慮
川島聡 (岡山理科大学経営学部経営学科)
- 17:15-17:35 障害者権利条約とは
石川准 (東京大学先端科学技術研究センター / 静岡県立大学国際関係学部)



主催: 東京大学先端科学技術研究センター

共催: JST CREST「認知ミラーリング」
東京大学戦略的パートナーシップ大学プロジェクト清華大学チーム
東京大学未来社会協創推進本部

お問い合わせ:
inclusive.design.lab@gmail.com

※ 手話通訳・パソコン通訳・
日英通訳が付きます。

